

生研ニュース

☆所 内 見 学☆

◇2月17日(木)西ドイツのフリードリチアナ工科大学教授カール・コルマン、助手カール・コルマン2世の両氏が午前中、久保田、野崎、丸安、斎藤、平尾研の各研究室を見学し、自動車工学について討論を行ない、午後「自動車タイヤの走行特性についての実験」について講義された。

◇2月18日(金)スイス政府によるエレクトロニクス学者の日本派遣団4教授が次の各研究室を見学した。斎藤、浜崎、藤井、森脇、高羽、尾上、高木、安達、野村、安田研究室

☆寄 稿☆

◇教授 森脇義雄「日米一次刊行物編集者会議に出席して」電気学会雑誌 86, p.3~4 (1966.1)

◇教授 森脇義雄「日米一次刊行物編集者会議に出席して」電気通信学会雑誌 49, p.51~52 (1966.1)

◇教授 森脇義雄「日米学術情報交換とテレビジョン学会誌」テレビジョン学会雑誌 20, p.2~6 (1966.1)

☆海 外 渡 航☆

第4部 加藤正夫教授はアメリカで開催される「宇宙開発研究におけるラジオアイソトープの応用」に関する会議に出席し、またイギリス、フランス、西ドイツの各国において、同会議に関する放射性同位元素の工学研究上の諸問題について、調査研究のため2月8日出発し、3月5日帰国の予定。

☆現 地 実 験☆

第2部 高橋幸伯助教授と小畑和彦助手は、大阪商船

三井船舶所属の貨物船「シアトル丸」に便乗し、40年12月31日神戸出港、太平洋上において耐航性に関する実船実験を実施し、パナマをへて41年1月28日ニューヨーク着、2月3日同港発2月13日クリストバルにつき、パナマを通過してロスアンゼルスにむかい、以後再び太平洋上の実測を行なって3月8日横浜帰着の予定である。2月21日までにえられた情報によると、計器に小故障が出ているが適宜処置して予定の計測が行なわれた模様で、同行の計測者(合計6名)とともに傷病等の事故はない。

☆日本写真測量学会主催の☆ ☆パネルデスカッション☆

日本写真測量学会第23回例会が2月5日日本所で開催された。日本で初めて作られたアフィン変換を利用したM3型写真測量簡易実体図化機についてのパネルデスカッションが学会第2部会長篠滋彦氏(東洋航空KK)の司会で行なわれた。

内 容

最初にこの図化機に関連した簡易図化機の原理についての説明が平井雄氏(建設省国土地理院)によりなされ、ついで、製作者の立場より、その目的につき大橋俊男氏(測機舎)が、その原理について飯塚正氏(測機舎)の説明があり、これについて使用者の立場から中村貢治氏(国際航業KK)が、その構造的な問題点について垣下精三氏(国土地理院)がこの機械の基本原理解にもとづいた航空写真の傾斜した場合の誤差がどのくらい出るかについて、グリッドをもとにした各格子点の座標位置誤差のズレ量を計算した結果を発表した。大島(本所第5部)はこの機械を学校教育に使用した場合の問題点についての説明を行なった。

生研ニュース

第18巻

生産研究3月号目次

第3号

表 紙 液体クロマトグラフ用電量的検出器。左上は検出器の主要部である電解セルの構造を示したもの(本文1~12ページ参照)

研究解説

クローメトリの液体クロマトグラフへの応用.....	武 藤 義 一	1
遠心バレル研摩法.....	松 永 正 久	13

研究速報

信号系の最適オフセットパタンの近似解.....	越 正 毅	20
シアニン系写真増感色素の励起エネルギーの計算.....	谷 池 忠 昭	23

ニ ュ ー ス 表 2